

# 病害虫防除技術情報第 6 号

平成 20 年 1 月 18 日  
三重県病害虫防除所

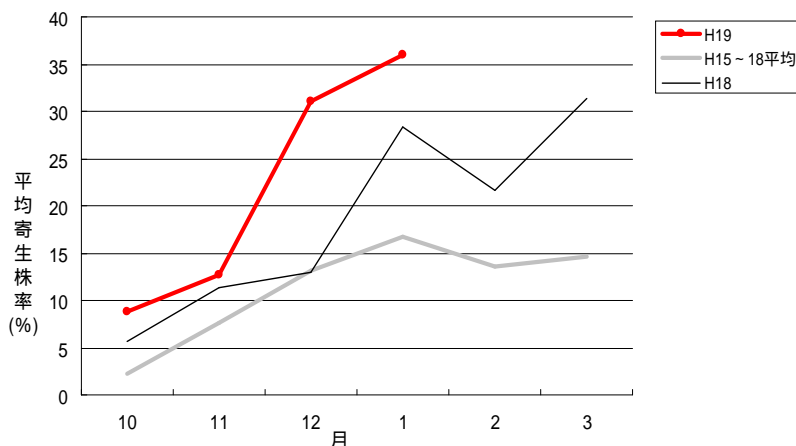
## イチゴのハダニ類は、発生の多い状況が続いています

1 対象作物 イチゴ

2 病害虫名 ハダニ類

3 発生状況

- ( 1 ) イチゴのハダニ類については、12 月上旬の巡回調査時に発生が多かったことから 12 月 12 日に注意報第 1 号を発表したところですが、依然として発生の多い状況が続いています。
- ( 2 ) 1 月第 2 週の巡回調査 ( 10 圃場 ) では、平均寄生株率は 35.9% ( 先月 31.1%、H15~18 平均 16.7%、前年 28.3% ) で、注意報を発表した先月より高い数値となっています。
- ( 3 ) 1 か月気象予報 ( 1 月 11 日発表 ) によると、向こう 1 か月は平年に比べて曇りや雨の日が多いですが、2 週目 ( 1 月 19 日~25 日 ) の気温は平年並または高い ( 確立 40% ) と予想されており、気温が高ければ発生量がさらに増加する恐れがあります。



図：ハダニ類寄生株率の推移 ( H15 から寄生株率の調査をしています )

4 防除対策

- ( 1 ) 早期発見に努め、寄生密度が低いうちに徹底した防除を行ってください。
- ( 2 ) 薬液がかかりやすくなるよう、不要な下葉を除去して丁寧に散布してください。
- ( 3 ) 薬剤散布にあたっては、ミツバチや天敵に対する影響に十分注意してください。(既に天敵を放飼している圃場での薬剤防除は、農業改良普及センター等の指導に従ってください。)
- ( 4 ) ハダニ類は抵抗性が発達しやすいので、同一薬剤や同一系統薬剤の連用は避けてください。
- ( 5 ) ハダニ類の寄生密度が高い状況で天敵を放飼する場合は、一旦薬剤防除 ( 天敵に影響の少ない剤 ) でハダニ類の密度を下げた後に放飼してください。
- ( 6 ) 農薬はラベルの表示を確認して正しく使用してください。(主な薬剤は、平成 19 年 12 月 12 日付け注意報第 1 号の別表を参照ください。)